

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

1

令和6年度	支出科目	調査研究費								
出張先	白老町(白老町役場)									
用務	こども誰でも通園制度の実施について									
期間	令和6年5月21日(火) 1日間									
出張者名	神山 哲太郎 大野 正和 池田 謙次 大西 厚子 計 4 名									
概算・精算金額	10,320 円	精算金額 円								
		差 額 円								
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 6 年 5 月 22 日		上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日								
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
5月21日	苫小牧	白老				21.6	540		1,500	
	白老	苫小牧				21.6	540			
小 計					0		1,080	0	1,500	0
合 計				2,580 円 × 4 名 = 10,320 円						
備 考 ※鉄道及び日当は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 6 年 5 月 22 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	白老町役場 白老郡白老町大町 1 丁目 1 番 1 号				
開催団体等					
政務活動期間	令和 6 年 5 月 21 日 (火)			1 日間	
政務活動項目 (名称等)	こども誰でも通園制度の実施について				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和	池田謙次	
					計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 少子化対策、子育て支援が最重要な現在、昨年こども家庭庁のこども未来戦略の中で、こども誰でも通園制度が盛り込まれました。 本市におきましても人口減少対策、少子化対策、子育て支援の拡充は前のめりになって推進しなければならず、その中でのこども誰でも通園制度はこどもを持つ保護者にとっては子育ての安心感につながります。 白老町は北海道で唯一の第一回の選考地域でありますので、事業内容を学ぶのはもちろんのこと、実績や課題などを学び、本市に即した事業内容にするにはどのようにしてできるのかを学ぶことを目的とします。 《こども誰でも通園制度の実施について》 ○白老町の教育保育施設は町立 1 園、私立 4 園があり、今回の国のモデル事業としては私立の海の子保育園にて実施されました。 出生数は近年で一番少ない令和 4 年度で人口 15,565 人に対して 34 人と非常に少ない状態で、危機感を持った町は役場内に少子化対策プロジェクトチームを立ち上げたそうです。 チームの発案で 14 の事業を提案して約半分は本事業として盛り込まれたそうです。 ○モデル事業ですので、事業名称は「未就園児の定期的な預かり保育モデル事業」との事でしたが、実質的にこども誰でも通園制度で、保護者が仕事をしていなくても利用できる、保護者が突然				

	の用事でも利用できる、更には保護者がリフレッシュしたいときなどのちょっとした事由でも気軽に利用することができるとの事でした。 ○こどものためとの利用目的もあり、早いうちから集団生活を経験することで成長につながる事や、本格入園前の練習にとの目的での利用もあったとの事でした。 ○同施設内の空きスペースでカフェを開設し、子どもを預け一息つきながら気軽に育児相談や保護者間交流ができることもあり、そこを目的とした利用者もいたそうです。 ○利用者に利用目的のアンケート調査をした結果、保護者の就労のため、リフレッシュのため、育児負担の軽減、集団活動を経験させたい、入園前に慣れるため、との内容だったそうです。 ○事業の効果は上記にわたって出ていますが、一番の効果の入り口が保育を必要とする事由に該当しない 1～3 歳未満児童の利用ができたことにあります。ここがすべてのスタートになることがわかりました。 ○課題に関しましては、単発利用された数件に関して、こどもが集団生活に慣れることができないまま利用終了になってしまうため、継続的な利用が望ましいと考えられたそうです。 更には、利用料金でモデル事業の方が在園時の預かり保育よりも下回ってしまう事もあることに違和感が生じてしまったそうです。料金設定は様々検討が必要になったようでした。 ○今回のモデル事業ではいみませんでした。仮に要支援児童がいたとしたら、専門職による早期発見ができるのではないかと考えられたそうです。 《所感》 今回の視察におきまして、事業の流れからメリットデメリット、運営側や利用者の生の声をお聞きして大変に勉強になりました。一番の大事なことは、各地域の実態に即した運営運用がものすごく大事になってくるという事でありました。人口規模によっても違いますし、高齢化率や園の数の割合によっても違います。更には人口密集地域かどうかなど様々な条件の違いでベストな運用方法が変わるという事だと思いました。 しかし、制度の内容は子育て支援やこどもたちにとっては大変に良い制度ですので苦小牧にとっての事業展開はどの様にするのがベストであるのか考えて提案したいと思いました。そのためには令和 8 年度にスタートとされているこの制度の事前準備を今から始めるべきと思いました。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="461 1659 746 1807">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="746 1659 1420 1807"> 「学習資料 1～3」 「保育所の育児支援～「こども誰でも通園制度モデル事業」～」 「議会だより」 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	「学習資料 1～3」 「保育所の育児支援～「こども誰でも通園制度モデル事業」～」 「議会だより」
資料名（会派保管）	「学習資料 1～3」 「保育所の育児支援～「こども誰でも通園制度モデル事業」～」 「議会だより」		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 6 年 6 月 5 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	釧路市役所 釧路市黒金町 7 丁目 5 番地 市役所本庁舎 2 階				
開催団体等					
政務活動期間	令和 6 年 6 月 3 日 (月) ~ 4 日 (火)			1 日間	
政務活動項目 (名称等)	津波避難タワーについて				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和	池田謙次	
					計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴う津波対策については本市におきましても避難困難地域が以前示されている中、対策につきましても財政的な面や場所的な面、方法論などまだまだ課題がある現状です。 先般、釧路市におきまして津波避難タワーを含みますハード面の整備を行う方針と一部予算が決まったとのお話を聞き、人口規模など本市と対策的に近い都市ということもあり、主に施設整備の方向性などを学ばせて頂くことを目的とします。 《津波避難タワーについて》 ○釧路市におかれましては、津波海岸部を中心とした平野部におきまして避難対象人口が約 11 万人いるそうで、地形的にも横長という事もあり避難困難者が多く出る予想です。 阿寒川、音別川、釧路川、新釧路川と洪水災害の想定や土砂災害の想定、雌阿寒岳(阿寒湖温泉地区)の火山噴火想定もすることから本市と類似しているところが多い都市です。 ○特に星が浦地区、大楽毛地区に関しては高さがある建物が少なく、避難困難地域として対策を講じなければならない状況の議論が数年前から展開されておりました。本市の勇払地域や糸井から樽前にかけての地域に似ております。津波避難タワーの議論も同時期からされているとのことで、先行して高台に向けての階段を整備するなど現在までも市独自の対策もされております。				

○東日本大震災時の対応としましては、津波警報の発表を受けて15:14に避難勧告発令されて、避難対象者2,680世帯(4,910人)中、避難者数は最大1,474人し、避難所46か所(津波一時避難場所39、その他7)が開設され避難されたそうです。それだけ要避難者が多いということの裏付けで議論が加速したそうでした。

○その後のソフト面の対策は津波浸水予想図の落とし込み、ハザードマップの発行、WEBハザードマップ作成など本市と同じような内容、時期で対策を講じてきたとのことでした。

○避難対策のひとつとして、2016年3月に大楽毛中学校に外から校舎屋上に避難することができる避難階段をつくられました。高い建物がここ以外に極端に少ない地域で既存の施設の機能を拡充し、改修することで避難困難者を少なくする対策を講じられてきました。しかし、依然施設が足りないためこのたびの対策になったとのことでした。

○今回は新たな避難施設の整備を決定させたとのことでしたが、内容は津波避難複合施設、消防署兼避難場所、津波避難タワー2基を建設とのことでした。

○複合施設は学校増築と上層階を避難施設とする学校と避難施設の複合施設として整備するとのことでした。国の学校施設環境改善交付金が補助金として使うことができるのが特徴です。

○消防署兼避難場所は消防施設改修のタイミングに合わせて避難施設を併設させることにより全体の整備費を抑制させることができます。

○専用施設(津波避難タワー)の平常時の活用方法の考え方がですが、地域の集会所のような使い方ができないとのことでした。どこの施設もそうですが、専用施設にしないと国の補助金対象外になるところが複合施設になりにくいところです。(複合施設の複合部分はその使用目的の補助を使うか、市で全額担わなければなりません)

○今後の取組における課題

【早期避難を高める取組における課題】

- 地域による防災意識の格差
→ 高齢者、町内会加入者の多い地域の意識が高い
- 周知・啓発の機会の拡大
→ Web、SNS、広報誌、防災講座など機会が限られている

【避難場所確保における積雪寒冷地ならではの課題】

- 屋内避難場所の確保
→ 既存施設の確保では施設が限られてしまう
- 屋外避難場所における有効な防寒対策
→ 内閣府における実証結果を踏まえての対策検討が挙げられておりました。

《所感》

津波避難タワーの必要性は本市におきましても議論してきましたが、避難困難地域が多数ある所から対策を講じなければならず、状況は同じでした。

国と北海道の補助金を最大に活用すると、市の負担割合は8.6%となり、これが現状におきましての最大となります。この補助金

	を最大に活用しながら、平常時にも価値的に使用できるような提案をし続けなければならないと思います。 釧路市はタイミングもありますが、上手に複合施設として学校と消防施設との機能を兼ね備えた複合施設を計画されました。 本市も今後の計画として様々計画がありますが、人命第一な中で価値的に整備していく計画を立て進めていくことが必要であることを更に学ばせて頂きました。今後も積極的に提案させていただきます。	
	資料名（会派保管）	「釧路市の概要（令和５年度）」 「釧路ガイドマップ」 「くしろ観光ガイド」

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

領収書

再発行(2)

発行 No.2409731903
表示日: 2024年5月30日

下記、宿泊施設を代理して正に領収いたしました。

宛名 公明党議員団 様

10%対象

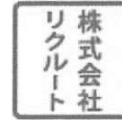
金額 ￥38,160ー (税込・サ込) 内 消費税額 ￥3,469
*但し、宿泊代金として(クレジットカード決済)

予約番号 0XKN56VL

ご利用施設 ラスティングホテル
(じゃらんnet)

宿泊日 2024年6月3日より 1泊

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。
※発行後に予約変更、キャンセルされた場合、本領収書は無効になります。



株式会社 リクルート
〒100-6640
東京都千代田区丸の内1-9-2グラントウキョウサウスタワー
登録番号: T5010001149426

ご利用明細書

発行 No.2409731903
表示日: 2024年5月30日

宿泊内容

宿泊日	予約番号	施設名	人数	室数	泊数
2024年6月3日(月)	0XKN56VL	ラスティングホテル	4	4	1

宿泊代表者氏名

おおの まさかず 様

納入通知書・領収証書

口座番号	02780-5-960064	加入者	苫小牧市会計管理者
摘要	令和6年度タブレット賃借料政務活動費負担分(公明党議員団) 2,400円×5人×12ヵ月		
〒	苫小牧市議会		
会派	公明党議員団 団長 神山 哲太郎 様		
会計	01 一般会計		
款	22 諸収入		
項	04 雑入		
目	05 雑入		
節	34 議員負担金		
細節	01 議員負担金		
細々節	01 議員負担金		
担当課	9200000000 議会事務局		
金額	¥144,000 円		
納期限	令和 6年 6月28日		
本書のとおり納入してください。 令和 6年 6月 5日 苫小牧市長			
納入できる場所 指定金融機関 : 苫小牧信用金庫本・支店及び市役所内派出所 収納代理金融機関 : 苫小牧市内に本・支店がある全国の金融機関、北海道内のゆうちょ銀行・郵便局 苫小牧市勇払出張所、のぞみ出張所及び沼ノ端出張所			
上記の金額を領収しました。 ※この証書は重要な証拠になりますから大切に(5年間)保存してください。		領収日付印	
令和6年度 調定番号 納付書番号	現年 1006104 9023		
苫小牧市		(納入者保管)	

事業名、使途及び内容等	令和6年度 タブレット賃借料政務活動費負担分
備考	

支 出 伝 票

使用科目	9 資料作成費	整理番号	3
------	---------	------	---

(様式5)

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	9 資料作成費	整理番号	4
別紙のとおり			
事業名、使途及び内容等 資料作成のために使用する事務機器(タブレット端末)用ソフト(office365)代 21,000 円 (内消費税 1,909 円)			
備考 苫小牧市議会政務活動費に関する取扱要領第 4 条第 5 項第 4 号により按分 2 分の 1 21,000 円 $\times$ 1/2 = 10,500 円			

発行日:2024年06月05日

金額収書
公明党議員団

未済

管理No. 1041-407-0012349
伝票No. 1041-407-250532

¥21,000— (内消費税 ¥1,909)

但しMicrosoft 365 代として。

支払内訳
現金

¥21,000

10%対象

¥21,000(内消費税

¥1,909)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダデンキ
群馬県高崎市栄町1-1
登録番号:12070001036729

※印刷面を内側に折って保管願います。

印紙税申告納
付につき高崎
税務署承認済



B1041407250532B

2064308016 MS365FAM23/B SSS
クレジット 1:持帰 外10

(カードNo: 6058120051387132087)
2064309013 MS365FAM23/U SSS
クレジット 1:持帰 外10
¥19,091

テックランド苫小牧本店

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

5

令和6年度	支出科目	調査研究費								
出張先	士別市(生涯学習情報センター内 適応指導教室ウィズ)									
用務	士別市適応指導教室について									
期間	令和6年9月18日(水) 1日間									
出張者名	神山 哲太郎 大野 正和 大西 厚子 藤田 広美 計 4 名									
概算・精算金額	86,560	円	精算金額 差 額 円 円							
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 6 年 9 月 19 日			上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日							
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
9月18日	苫小牧	士別		往復		523.8	10,560	8,080	3,000	
小 計					0		10,560	8,080	3,000	食事代 0
合 計				21,640 円 × 4 名 = 86,560 円						
備 考 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動 (参加・実施) 報告書

令和 6 年 9 月 18 日

会 派 公明党議員団参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	士別市適応指導教室ウィズ 士別市西 1 条 8 丁目士別市生涯学習情報センター『いぶき』				
開催団体等					
政務活動期間	令和 6 年 9 月 18 日 (水)				1 日間
政務活動項目 (名称等)	適応指導教室について				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和	藤田広美	
					計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 本市におきまして適応指導教室として設置拡大をされましたが、ハードの部分はもちろん、ソフト面や取り組み、実働の上での課題解決を意見交換させて頂き、今後の不登校対策や予防に活かす提案内容を大きく検討するべく種々学ばせて頂くことを目的とします。 《適応指導教室ウィズについて》 ○士別市適応指導教室ウィズは H26 年から開設され、目的としてはあくまでも教育支援の場、社会的自立や学校復帰に向けて歩き出す支援を行う場としておりますが、何か型にはめるという事は一切無く、一歩踏み出し来ただけでもよし、やりたいことをやらせる、かなりな臨機応変さを前面に出しておりました。 ○主任指導員さんは開設当初からいる退職教員、ここ(ウィズ)に無い物はないと言い切られておりました。撤退したデパートの跡地を士別市生涯学習情報センター『いぶき』として開設し、一階二階には市立図書館(子ども向け図書館もある)、生涯学習情報センター(展示グループボランティア団体や幼児向け学習施設がある)、さらには職員室には元デパート食品売り場の調理場であったのか水まわりが充実しているのもあり、一緒にご飯も調理し食べたり、運動して体育だとかなんでも教育に結びつく施設でした。 ○結びつくというよりは結びつけることが大変に印象的で大きく共感できる内容でした。 「家から一歩出ることの重きを置く」という言葉が印象に残り、「やりたいことをやらせる」はその後、興味があるものは徹底的にという考えはこちらも大きく共感しました。				

	○実際に一名来ていた小学校中学年の男の子はパソコンの前でゲーム（動きに合わせてタイミングよくボタンを押すだけの簡単なもの）を指導員さんと笑いながらしており、お聞きすると今は来るたびにそればかりやるので来る目的になっているのだと思いますとおっしゃられておりました。それがなければおそらく来ることはできないだろうとも教えて頂きました。 ○中には正面玄関から出入りすることが難しい子が数名いるとのことでしたが、デパートの跡地という事もあり裏口（当時は荷物の搬入口）から「秘密のルート」と呼び、来やすく帰りやすく言葉で面白くして気持ちを軽くする努力を紹介して頂きました。施設を作るだけではなく、やはり人と人でしか進まないことを確認できました。 ○教室への導きは様々なケースがありますが、現在は医療機関からの紹介が多くなっているようで、心療内科の先生に名寄から事あるごとに来て頂いているようでした。 ○子どもとの関わりについて印象的だったことは、まずは信頼関係の構築が一切通用しないのでここが一番、そこから仮に学校に行けるような発信があったら一緒に学校に付き添って通う活動をする、10年前はウィズに学校の先生が来たら怒っていた子どもたちはエネルギーがありましたが今はあまり怒りはしない、しかしながらできるだけ信頼関係を築き、一緒に学校に付き添って通うことにしているそうです。 《所感》 歴史が10年あるだけあって様々なケースや課題、経験が豊富で実りある学びとなりました。特に時代に即した対応の歴史がこれからの宝の子どもたちのためになることは間違いないと確信しました。 上記文中にも書かせて頂きましたが、どこまで行っても教育は人対人、少子化で嘆くのではなくひとりの子に対して光を当てる光量を大きくするべく関わらなければ不登校問題は解決しないと思います。 とはいえども、教員や指導員を大きく増やすことはむずかしい課題だと思います。しかし、信頼関係から始まるのであれば指導者と言われる指導側の関わりは増やさないとなりません。ひとくくりに簡単にはいきませんが、課題解決を考え続けなければならないと思います。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1512 753 1606">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="753 1512 1457 1606">「士別市議会概要（令和6年度）」 「議会広報士別」</td></tr> </table>	資料名（会派保管）	「士別市議会概要（令和6年度）」 「議会広報士別」
資料名（会派保管）	「士別市議会概要（令和6年度）」 「議会広報士別」		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

6

令和6年度	支出科目	調査研究費								
出張先	①1/22 10:00～11:30 藤岡市(藤岡市役所) ②1/23 10:00～11:00 立川市(立川市役所)									
用務	①5歳児検診について ②自治会連合会の「絆カード」、自治会・町会について									
期間	令和7年1月21日(火)～1月23日(木) 3日間									
出張者名	神山 哲太郎 大野 正和 大西 厚子 藤田 広美 計 4 名									
概算・精算金額	233,760 円	精算金額 円								
		差 額 円								
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和7年1月24日		 上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日	印							
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
1月21日	苫小牧	新千歳空港				29.8	660		3,000	
	新千歳空港	羽田空港		パック	37,000					
	羽田空港	東京		モ	690					
	東京	高崎				105.2		2,840		
	高崎	群馬藤岡	藤岡市			11.7	1,810			
1月22日	群馬藤岡	高麗川				53.6			3,000	
	高麗川	拝島				21.2	1,520			
	拝島	立川	立川市			6.9				
1月23日	立川	東京				37.5	570		3,000	
	東京	羽田空港		モ	690					
	羽田空港	新千歳空港								
	新千歳空港	苫小牧				29.8	660			食事代 3,000
小 計					38,380		5,220	2,840	9,000	3,000
合 計					58,440 円 ×	4 名 =		233,760 円		
備 考 ※午前中の視察開始時間に間に合わないため、前泊する。 ※パック旅行に夕食が含まれていないため、食事代として3,000円(半日当相当額×2日分)を支給する。 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 7 年 1 月 24 日

会 派 公明党議員団参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	①群馬県藤岡市中栗須 327 番地 藤岡市役所 ②東京都立川市泉町 1156-9 立川市役所				
開催団体等					
政務活動期間	令和 7 年 1 月 21 日 (火) ~ 23 日 (木)				3 日間
政務活動項目 (名称等)	①5 歳児健診について ②自治会連合会の「絆カード」について				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和	藤田広美	
					計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	①藤岡市 5 歳児健診について 《目的》 本市におきまして 5 歳児健診を取り入れる提案を会派としてし続けるところにおいて、子どもまんなか社会の構築という時代の流れも変化している昨今、先進地域におきまして実施の経緯や方法、経費面や効果など事業全般を視察させていただき、提案内容を大きく検討するべく種々学ばせて頂くことを目的とします。 《5 歳児健診について》 ○藤岡市は、人口 6 万 2 千人余りの都市で令和 5 年度の出生数は 254 人との事で、1 人 1 人を大切に育みたいとの言葉が印象的でした。 ○平成 19 年から群馬県のモデル事業としてスタートしたことをきっかけに平成 22 年度には事業効果は絶大との事で市単独事業としてスタートさせました。 ○スタート時から現在まで必要に応じて変化して行ったものをお聞きしましたが、最初は健診がメインで事後のフォローが無かった事が一番変化した事であるとの事でした。逆を言えば 5 歳児健診を行う事で一番大切になってくことは健診後のフォロー体制の確立になります。 ○5 歳児健診を行う目的として、3 歳児健診で発見されにくい発達障害の早期発見・支援でありまして、藤岡市ではまず、5 歳児全員を対象として月 2 回実施され、問診・身体計測・集団活動				

(手遊び・読み聞かせ・自己紹介・粗大運動←ピアノに合わせて歩くなど)・講話(歯科・子育て講話)・個別指導などの内容で心理士・保育士・保健師・家庭指導相談員・看護師・歯科衛生士などの皆さんが実施されます。(受診率は約96%)

○これらは一次健診として実施されますが、その中で必要と判断された幼児を対象に5歳児精密健診(二次健診)が実施されます。

(年6回)我が子に対する不安や心配などでハードルが高くならないように、「ぐんぐん教室」というネーミングにして、自由遊び・課題遊び・個別検査・読み聞かせなどを児童精神科医師・心理士・保育士・保健師・家庭指導相談員・看護師などの皆さんで実施されます。(受診率は約56%)

○その後のフォロー体制として、①言語・発達面、養育環境等に問題のある幼児を対象に「幼児教室」があります。親担当・子担当別に実施されるとのことでした。(月1回実施)②健診時との比較を観察する園訪問をし、③運動・発達・行動面や対人関係等に課題がある幼児を対象に、療育訓練や褒めて育てるペアレントトレーニングなどを行う「のびのび教室」を実施。④児童精神科医師による発達相談を行い、保護者に発達特性の理解を促し、受診の勧めなどを行います。⑤その他随時個別の心理相談を開催されて、事後のフォロー体制が厚くなっていました。前述しましたが、ここ無くして本来の5歳児健診を行う目的は達成されないと話されておりました。

○数ある支援の一つとして、「教育支援委員会」という組織があり、市子ども課の保健師と市教育委員会の指導主事が構成員として参画連携して検討児の情報提供・共有及び意見交換を行いスムーズかつ一人一人の支援を着実にを行う体制を構築されていました。

○医師やスタッフのマンパワーの課題につきましては当初からスタッフがそのまま携わられているようで、今後の課題にはなるとの事でしたが、約15年前から現在までそのままと言いますと志の高い方がたくさんいらっしゃってその情熱が良い事業構築につながっていると思いました。

○費用面は母子保健医療対策に使うことができる国の補助金を活用し、残りは市費(136万円程)で賄っているとの事でした。医師等の人材確保に関しましては、直接関係のある医師や有資格者に声をかけ来て頂いているそうです。都会と言う事もあるとは思いました。

《所感》

5歳児検診の有効性が一人ひとりの子たちへのためにという事はもちろんのこと、保護者への有効性は絶大であること、更には家族全体のためになりその結果が地域全体のためになるという大きな取り組みになるという事がこの度の学びでわかりました。

本市におきましては医師やスタッフの不足などで実現には至っていませんが、やはり様々な効果は出ることを確信しました。

こどもまんなかの社会を実現する先駆的な取り組みを教えて頂きましたが、しっかりと実現に向けて提案し続けなければならないと思いました。

②自治会連合会の「絆カード」について

《目的》

全国的におきまして町内会、自治会などの加入率の低下、役員のなり手不足、高齢化問題、会費の徴収方法など問題に頭を悩ませる中におきまして、各町内会が知恵を出しながら運営する中で先進的な取り組みを学ぶことにより本市の関係各会に取り入れられる事は無いかを学ぶことを目的とします。

《「絆カード」について》

○「絆カード」とは立川市自治会連合会におきまして発行されているオリジナルカードで、加盟自治会会員の各世帯に配布しています。「絆」カードは「災害に強い地域づくり」のために、「自治会加入・絆・互助」の推進強化を図る目的で発行したそうです。

○「絆」カードを所持されている方への特典として、立川市内の企業・商店にご協力をいただき、各企業・商店で「絆」カードを提示していただくことで、いろいろな「優待サービス」がご利用いただける仕組みでした。

○H23年の東日本大震災を契機に、安全・安心・健康・環境またご近所の親睦には自治会活動が欠かせない事を学び、今後の方針の議論が加速され、平成24年に「絆」カードを製作。文字通り人と人との絆を作ることが絶対条件で事業展開が始まったそうです。

○都会という事情もあり、駅前中心にマンションが多くなり自治会加入率は減少傾向にあったそうですが、導入後3年間横ばいで推移されたそうです。残念ながらその後は再び減少に歯止めがかからない状況でした。

○それらの事も含めてではありますが、自治会役員の高齢化や地域コミュニティの向上は必要との議論は深まり、平成31年3月に自治会応援条例が制定されました。内容は加入率促進のために市、市民、自治会等、事業者、住宅関連事業者それぞれの役割を定めております。しかし、残念ながらその後も下降現象でした。

○自治会等への助成制度として以下の制度があります。

1. 自治会補助金
2. 自治会連合会補助金
3. 集会施設等設置補助金
4. 防犯灯設置補助金
5. 児童参加地域事業補助金
6. コミュニティ用品補助金
7. 防犯灯撤去補助金
8. 集会施設等賃借料補助金

○以上8つの制度がありますが、5.～8.が条例制定後に作られた制度で、5.は自治会に加入していない人にも参加してもらえるように補助を入れる内容、7.は自治会管理の防犯灯を維持管理が大変になってきている現状を踏まえて撤去することにより市の街路灯に移行していく取り組みです。古いままにして手を加えないことにより、落下や転倒による事故等を防ぐため、徐々に自治会管理を減らして行きたいそうでした。それだけ自治会独自で管理するのが厳しくなっているのが現状だそうです。

	《所感》 「絆」カードという自治会カードを作り様々な方面の市民が知恵を出し合いながら自治会を何とか存続、盛り上げていこうという内容でした。一定の効果は見られておりますが、立川市では今これからが正念場で勝負であることを教えて頂きました。 具体的には来年度からは担当職員が直接自治会に入らせて頂く取り組みを始める予定だそうです。逆の立場で考えると、少し複雑な気持ちになりましたが、ここを踏み出す事しかないとも言っておりました。 本市でも町内会の格差であるとか、防犯灯の更新が一気に始まる事、役員のなり手不足や高齢者の見守り体制など課題は山ほどあります。この度学ばせて頂きました内容を活かせるように更に思考し続けなければならないと思いました。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="486 857 758 1135">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="758 857 1402 1135"> ①藤岡市 「藤岡市 5 歳児健診の取組」 「藤岡市市勢要覧」 「藤岡市市議会要覧」他 ②立川市 「立川市自治会関連事業について」 「絆カードの御案内」 「立川市の概要」他 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	①藤岡市 「藤岡市 5 歳児健診の取組」 「藤岡市市勢要覧」 「藤岡市市議会要覧」他 ②立川市 「立川市自治会関連事業について」 「絆カードの御案内」 「立川市の概要」他
資料名（会派保管）	①藤岡市 「藤岡市 5 歳児健診の取組」 「藤岡市市勢要覧」 「藤岡市市議会要覧」他 ②立川市 「立川市自治会関連事業について」 「絆カードの御案内」 「立川市の概要」他		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

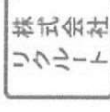
領収書

発行 No. AJP0001316865
表示日: 2024年11月26日

下記、正に領収いたしました。

宛名	公明党議員団様		
金額	10%対象 ¥148,000—	内消費税額	¥13,454
	※但し、航空券代・宿泊代等として(クレジットカード決済)		
予約番号	AJP3AM350H		
旅行期間	2025年01月21日 ~ 2025年01月23日		
決済日	2024年11月26日		

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



RECRUIT

株式会社 リクルート

〒100-6640

東京都千代田区丸の内1-9-2グラントウキョウサウスタワー

登録番号: T5010001149426

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号	7
------	---

令和 6年度	支出科目	調査研究費								
政 務 活 動 先	帯広市(帯広市役所)									
用 務	フードバレーとかちについて									
期 間	令和7年1月27日(月) 1日間									
参 加 者 名	神山哲太郎 大西厚子 大野正和 計 3 名									
概算・精算金額	52,440	円	精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和 7 年 1 月 28 日			上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日		印					
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
1月27日	苫小牧	帯広		往復		406.8	9,020	5,460	3,000	
										食事代
小 計					0		9,020	5,460	3,000	0
合 計				17,480 円 × 3 名 = 52,440 円						
備 考 ※宿泊・航空運賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	4 研修費	整理番号	8																																		
領 収 証 苫小牧市議会 公脱 額田 様 No. _____ <table border="1"><tr><td>金 額</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <table border="1"><tr><td>内 訳</td><td></td></tr><tr><td>現 金</td><td>✓</td></tr><tr><td>小 切 手</td><td>/</td></tr><tr><td>手 形</td><td>/</td></tr><tr><td>税 抜 10,000</td><td></td></tr><tr><td>消費税額等(10%)</td><td>1,000</td></tr><tr><td>消費税額等(%)</td><td></td></tr></table> 但 視察費として 2025 年 2 月 12 日 上記正に領収いたしました 〒943-0861 新潟県上越市大和5丁目1番5号 株式会社北信越地域資源研究所 収入印紙 代表取締役 平 原 匡 TEL 025-520-8777 登録番号 T6110001028552				金 額																				内 訳		現 金	✓	小 切 手	/	手 形	/	税 抜 10,000		消費税額等(10%)	1,000	消費税額等(%)	
金 額																																					
内 訳																																					
現 金	✓																																				
小 切 手	/																																				
手 形	/																																				
税 抜 10,000																																					
消費税額等(10%)	1,000																																				
消費税額等(%)																																					
事業名、使途及び内容等 2/12(水) 新潟県上越市(北信越ラボ) 当日視察費用 11,000 円																																					
備考																																					

(様式 3)

政務活動 (参加・実施) 報告書

令和 7 年 1 月 28 日

会 派

公明党議員団

参 加 者

神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	帯広市役所 帯広市西 5 条南 7 丁目 1 番地				
開催団体等					
政務活動期間	令和 7 年 1 月 27 日 (月)			1 日間	
政務活動項目 (名称等)	フードバレーとかちについて				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
					計 3 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 本市におきまして、東胆振 1 市 4 町による定住自立圏構想のもと、広域連携を進め、様々な事業を推進しています。また、協定を結んで地域住民の為、その中心市として地域の発展のため様々な広域行政を行っております。 帯広市におきましても十勝 19 市町村の中心市として広域行政を行っており、その中でもフードバレーとかちと銘打って食と農林漁業を柱とした産業政策を大胆に展開されております。 本市におきましても広域連携の枠で食と農林漁業もそうですが、基幹産業や観光などにおきまして取り組み拡大ができないかどうかを考えるうえで、広域連携や業界を超えた体制づくりの経緯や現状、課題について先行地域から学ぶことを目的とします。 《フードバレーとかちについて》 ○十勝地域は広大な平野を持ち、日照時間は平均 2015 時間と長く、農業を支えるといっても良い環境が整っている地域で、その特性や優位性、歴史として蓄積されてきた産業基盤をフル活用して産業振興にオール十勝で取り組んでいるのがフードバレーとかちです。 ○その蓄積されてきた産業基盤の例をいくつか教えて頂きましたが、一例として、広大な面積の 25%が耕地（農業に用いられる土地）であったり、乳用牛・肉用牛の飼養頭数は 47 万 6 千頭で、人口 33 万 3 千人を大きく上回るそうです。馬鈴薯や小豆なども全国トップクラスの生産量がありますし、食料自給率は 1,345%もあるくらいの規模です。				

○帯広発信で食と農を中心として成長させることにより、それを基盤とした新たな産業が生まれ食と農の価値を高める、更には地域の価値を高めて人を呼び込む、すると自動的に子育てや教育に力が注がれて未来へつなぐとお話しされておりました。

○フードバレーとかち推進協議会と言う産学官金 41 団体で構成される会があり推進されておりますが、行政機関は当然定住自立圏の枠組みを最大限に活用されておりました。フードバレーとかちの取り組みの方が先でこれらがあったから「十勝定住自立圏形成協定」がスムーズに行われたと言っても良いとも言われておりました。

○北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区として札幌市、江別市、函館市とともに市町村単位ではなく、十勝として参加し、輸出対応型として拠点の形成や成長著しい東アジアの食市場の獲得に力を入れるなどの取り組みをした結果、約 10 年間の設備などの投資誘発は約 580 億円に上りました。

○更には、バイオマス産業都市に十勝（19 市町村）として平成 25 年に第一号認定（全国 97 市町村）され、十勝バイオマス産業都市構想として、バイオガスプラントを建設し、有機肥料を作り、発酵熱を有効利用し、電気を作って売電するといった循環型社会の構築も推進しております。

○十勝管内でバイオガスプラントは 52 基稼働されており、投資誘発額は約 10 年間で 243 億円に上り、更に 2033 年度までに 13 基計画されているとの事でした。

○企業との連携が数多くあり、その一つとして大手乳製品、食料品製造業とフードバレーとかちとの連携で「オール十勝産」の乳酸菌を使用した商品を販売、「オール十勝産」の証としてフードバレーとかちのロゴマークを入れて販売する取組を教えて頂きました。事務局（市職員も入っている）が粘り強く企業に足を運び、常に作戦を練っている様子がうかがえました。

○他にもたくさんの連携の様子を教えて頂きましたが、共通しているのは地域の為に、人の為に、更には提携している方々のために目に見える結果を出したいとの気概でした。

○それらの結果を受けて、大事なことは魅力を発信する力を付ける事だとの考えでアンテナを高く持ち汗をかきたいと言われておりました。そのために行政も稼ぐ力を大事にしていきたいとも語られておりました。

《所感》

本市におきましても食以外でも広域で連携できる方法が無いかとヒントを頂きにとの思いでしたが、当然簡単なことでは無く、いかにかかわる側が情熱をもって取り組むか、という事が一番大事になることを学ばせていただきました。

推進途中であるという事を前提としてはありますが、結果として市税収入は上がっておりますし、人口減少率も低いままであります。更には若者が新規起業する環境が整い、新設会社数も上昇している結果が出ております。地域の特性上そのまま真似をしてもできる事ではありませんが、この度の視察を通し、大きなヒントを頂きました。

本市の発展に寄与できることを考えて提案できるように取り組んで参ります。

	資料名（会派保管）	「フードパレーとかち説明資料」 「帯広市の概要」 「おびひろ市議会だより」
--	-----------	---

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

旅 費 支 払 伝 票

整理番号	9
------	---

令和6年度	支出科目	調査研究費										
出張先	①上越市(北信越ラボ) 12日10:00~11:30 ②東京都大田区(大田区総合体育館) 13日10:00~11:30											
用務	①民間スタートアップ拠点としての機能について ほか ②大田区総合体育館について ほか											
期間	令和7年2月11日(火)~2月13日(木) 3日間											
出張者名	神山 哲太郎 大野 正和 大西 厚子 藤田 広美 計 4 名											
概算・精算金額	366,120 円					精算金額	円					
						差 額	円					
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和7年2月14日						上記金額を精算しました 精算年月日 令和 年 月 日				印		
旅 費 内 訳 書												
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊		
				種別	料金	キロ	運賃	特急				
2月11日	苫小牧	新千歳空港				29.8	660		3,000			
	新千歳空港	新潟空港		パック	62,500							
	新潟空港	新潟		バ	470							
	新潟	長岡				63.3						
	長岡	直江津	上越市			73.0	2,310					
2月12日	上越妙高	東京	東京			282.1	5,170	4,070	3,000			
2月13日	東京	羽田空港		モ	690				3,000			
	羽田空港	新千歳空港										
	新千歳空港	苫小牧				29.8	660					
										食事代 3,000		
小 計					63,660		8,800	4,070	9,000	3,000		
合 計	88,530 円 × 4 名 +					キャンセル料 12,000		=		366,120 円		
備 考	※午前中の視察開始時間に間に合わないため、前泊する。 ※パック旅行に夕食が含まれていないため、食事代として3,000円(半日当相当額×2日分)を支給する。 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。 ※当初予定していた日程(1/14-16)が、急遽臨時議会が開催されることにより変更となり、 宿泊料のキャンセル料が発生したため当該旅費に含める。											

領収書

再発行(1)

発行 No.AJP0001354087
表示日: 2025年03月15日

下記、正に領収いたしました。

宛名	公明党議員団様
金額	10%対象 ¥250,000ー 内消費税額 ¥22,727 ※但し、航空券代・宿泊代等として(クレジットカード決済)

予約番号 AJP3AMKN40

旅行期間 2025年02月11日 ~ 2025年02月13日

決済日 2024年12月25日

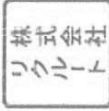
※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



株式会社 リクルート

〒100-6640
東京都千代田区丸の内1-9-2グラントウキョウサウスタワー

登録番号: T5010001149426



領 収 書

再 発 行 (2)

発行 No.AJP0001354085
表示日: 2025年03月15日

下記、正に領収いたしました。

宛名	公明党議員団 様
金額	¥12,000- (消費税対象外) ※但し、取消料として(クレジットカード決済) ※取消料は解約に伴う違約金に該当します
予約番号	AJP3AM5A11
旅行期間	2025年01月14日 ~ 2025年01月16日
決済日	2024年12月24日

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。
※本領収書は適格請求書ではありません。



(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 7 年 2 月 14 日

会 派 公明党議員団参 加 者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	①新潟県上越市大和 5 丁目 1-5 商業施設『フルサット』 ②東京都大田区東蒲田 1 丁目 11-1 大田区総合体育館				
開催団体等					
政務活動期間	令和 7 年 2 月 11 日（火）～ 13 日（木）				3 日間
政務活動項目 (名称等)	①フルサットの運営について ②大田区総合体育館について				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和	藤田広美	
					計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	①フルサットの運営について 《目的》 本市におきまして観光事業に注力することの重要性や可能性は大きくあるものととらえますし、駅周辺のまちづくりを重要視されている現在、将来を見据えて活発な議論が必要になると思います。 (株)北信越地域資源研究所が運営されておりますフルサットは、コンテナを活用し店舗などの集合体にして事業を展開されて、コンテナ商店街のような場所です。 にぎわい創出方法や、事業の運営方法、更にはメリットデメリットを学ばせて頂き、本市のまちづくりのヒントとならないかを多角的に学ばせて頂くことを目的とします。 《フルサットの運営について》 ○株式会社北信越地域資源研究所、通称北信越ラボが運営するフルサットですが、北陸新幹線が通り上越妙高駅が 10 年前に開業され、地域の活性化や地元事業者の連携支援などを中心に旗振り役として行なっております。 ○駅前扇形の土地を借りて物流用のコンテナを改造して並べ、屋根も取り外しが可能な形に工夫をして取り付けてコンテナ店舗の集合体をテナントとして形成、カフェや飲食店、さらにはオフィスなどが入って運営されておりました。 ○新幹線の駅が出来て世間から駅周辺の開発が進まないと言わ				

れ、実際にはレンタカー事業所とホテル2社余りしか土地活用案がなく、それらを逆手に取った事業展開にしようと始めたそうです。

○テナント業のみではなく、就業支援事業（コンサルティングや横のつながりを持つための場所づくり）を行ったり、地域に還元することを目的としたイベント開催、地元事業者や大手企業と連携して地域の魅力を生かす取り組みを行っておりました。

○地域の魅力を生かす具体的な取り組みとしては、月一度のランチミーティングをフルサット内で行い、メンバーを拡大、メンバー同士知恵を絞りたくさんのプロジェクトを立ち上げておりました。一例として、「鉄道に見える風景・場所を守ろう・みんなで共有しよう!」と題して、地域資源を探す・作るを企画し見える化して具体化、ガイドツアーやグッズ化し地域一体の取り組みを推進されておりました。

○場所は公園に隣接しておりここでも可能性がないかを模索中との事でした。飲食だけではなく宿泊の可能性も研究中との事で、理由はインバウンドによる価格の高騰、ホテル部屋確保が時期によっての変動が大きい事だそうです。

○上記しましたが、結果としては宿泊施設がゼロだった駅周辺に500室規模で建設されて、滞在人口が増加されました。更にはそれらの効果で新しく起業する人が増えました。

○2020年から新潟県民間スタートアップ拠点に認定されたそうです。

○行政との連携という面ではなかなか無いのが現状の様子でした。

《所感》

地元出身の中心者がなんとか地域を盛り立てたいとの思いが形になっている一連の事業でありました。

一人一人が小さな街でその集合体で大きな街にしていこうとの合言葉的な考えをみんなで共有しながら進むことによって、結果地域のため、人のために貢献していくことが出来るとの考えに共感する物がありました。

しかしながら、現実にはコロナ禍以来テナント自体飲食店舗を中心に空きが多くなってきており、まだまだ今後の仕掛けが必要とおっしゃっておりました。官民連携で何かできないものかと考えるほどでした。

やはりスタートアップ支援は知恵をしぼり行動することの大切さを再確認させて頂きました。

②大田区総合体育館について

《目的》

本市におきましては今後、大型スポーツ施設の改修・更新が必要になって参ります。特に総合体育館に関しましては物価燃油高騰による工事費の急激な高騰による工事方法や場所の方針が立ち止まっている状況です。いずれにしましてもさまざまな議論をして提案を含めて市民のために、未来ある子どもたちに胸を張って残

すことのできる施設を目指すために先進地域から学ばせて頂きたいと思います。

更には他の公共施設におきましても同様であり、様々な手法他を調査させていただく事を目的とします。

《大田区総合体育館について》

○昭和 40 年にオープンされた旧体育館、老朽化により平成 20 年に取り壊し（43 年間）、同じ場所での建設（取りこわし工事含む）オープンが平成 24 年で現体育館は 13 年目に入るそうです。

○改築工事のため、工事の 4 年間は別体育館（小規模体育館や小中学校の開放事業）を案内したそうです。

○指定管理者制度で管理運営されている施設で、プロスポーツ（バスケットボール、バレーボール、相撲、プロレスリングなど）などを誘致して集客の取り組みに力を入れられておりました。

○本市もそうですが施設の利用率は高く、90%を超える利用率です。来館者数も高く、数千人規模の来館者のイベントが平均月 4 回ある実績です。これも誘致誘客の努力をされている様子でした。逆にいいますと、器があるから自信を持って営業できるとの感想です。「するスポーツ」と「みるスポーツ」をしっかりと分けるとの言葉が印象的でした。

○スポーツ振興という面では指定管理者自主事業も工夫して充実しており、幼児と親向けの親子体操会からヨガやフラダンス、キッズダンスやエクササイズ、シニア向けの健康体操や健康麻雀教室まで幅広く行われてたくさんの方々が来館されて汗を流しておりました。

○建設費等は、計画含む設計費 81,501 千円、取りこわし工事 295,827 千円、建設工事合計 7,206,165 千円。

全て大田区の一般財源から捻出されたとの事です。

○体育館の運営に関しましては指定管理者職員 5～8 名で運営されており、指定管理費は年間約 193,500 千円との事です。

○災害時の一時避難所として当然準備はされているとの事でしたが、津波避難の想定がそれほどでもないことがあるのか、備蓄品も最低限の備蓄だそうです。

○区民の健康維持・増進、スポーツ技術の向上に寄与する施設としての運営方法として今年度の区の施策検証等に向けた区民意識調査の中で、スポーツの振興は評価され満足度が高い結果でした。

体育館を含めたスポーツ施設は日頃の居場所で上位に位置するなどこちらも高評価、スポーツや運動を開始（再開）するために必要なことの条件として、スポーツを観戦する機会の提供と挙げられるほどスポーツ競技の誘致が効果を出している結果となりました。

○昨年は大規模改修工事がなされて、

- ・天井の吊り物をできる限り外す
- ・ハロゲンから LED 照明に変更
- ・音響設備の更新

などの工事をされたとのことで、約 10 年前には必要とされた設備でも現在には合わないのはあると思いました。

	《所感》 この度約１２年前に改築された大田区総合体育館の内部含めて現地視察させて頂きましたが、機能的にも運営的にも非常に勉強になりました。 本市総合体育館の更新は喫緊の課題であります。整備条件や方法、場所、内容もあらゆるケースを想定してさまざまな提案をすることができそうです。 どちらにしましても、市民のために有益な将来に受け継いで行ける体育館含めた施設を作っていくように、まちづくりに直結していることを見据えた提案をしてまいります。	
	資料名（会派保管）	① フルサットの運営について 「北信越ラボ・フルサット運営イメージ他チラシ ② 大田区総合体育館について 「説明資料１～６」 「大田区総合体育館ご利用の手引き」 「旧大田区体育館パンフレット」他

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 7 年 3 月 21 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 池田 謙次

政務活動先 (目的地)	社会福祉法人『伊達コスモス 21』 伊達市松ヶ枝町 59 番地 4				
開催団体等					
政務活動期間	令和 7 年 3 月 21 日 (金)				1 日間
政務活動項目 (名称等)	伊達コスモス 21 について				
政務活動参加者	池田 謙次				
					計 1 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《目的》 本市におきましても障がい者就労場所の確保についてたくさんのニーズや要望がある中で、対策や運営事業者の確保などを行っている中におきまして、様々な課題がある中運営をされている中で、先行他市の運営状況を学ばせて頂き、本市の需要に応じることが出来るかを含めて学ぶ事を目的とします。 《伊達コスモス 21 について》 ○社会福祉法人伊達コスモス 21 の歴史は古く、正式登録は平成 13 年ですが、その前から地域共同作業所「パンの店コスモス」として法人運営化される前から地域には無くてはならない施設であったそうです。 ○様々な歴史を作りながらニーズが増え、現在では日中活動支援としての多機能型の指定障がい福祉サービス事業所として、 「ふみだす」(定員 60 名、就労継続支援 B 型・生活介護・日中一時支援) 「第 2 ふみだす」(定員 40 名、就労継続支援 B 型・生活介護) 生活支援としての指定障がい福祉サービス事業所として、 「サポートじゃんぷ」(定員 57 名、共同生活援助・短期入所) 「サポートハンズころころ」(居宅介護・重度訪問介護・行動援護) 「どんぐりころころ」(指定特定相談支援) を展開する事業内容です。				

	○その他、公益事業として、福祉有償運送事業、在宅高齢者・障がい者入浴支援事業があります。 ○「ふみだす」の就労継続支援B型のみの定員は20名で、定員に対して年間通して全て上回る現状で、年齢構成について、下は20代、上は60代まで幅広い年齢層の利用者さんでした。事業内容としましては、パン、菓子類、餅製品、伊達市内の小中学校の給食のパンを製造し、販売・配達も行います。珍しい所では農福連携としてトマト農場に行き収穫作業を行うとの事でした。 ○「第2ふみだす」の就労継続支援B型のみの定員は26名で、こちらも定員に対して年間通して全て大きく上回る現状でした、年齢構成について、下は20代未満、上は60代まで幅広い年齢層の利用者さんでした。事業内容としましては、比較的長期の訓練を要する方向けで、多種多様な就労場所がありました。 青果のパッキング、市内各事業所等のワックス清掃、農耕、西いぶりリサイクルプラザ内でペットボトルとビンの手選別作業、建物周辺の美化活動の請負、蒸し豚まん等の自主製品の製造販売、食品関連事業所のピザ生地・ソース・ドレッシング等の製造販売、その他もたくさんの作業を請負っているそうです。 ○収益に関しましては企業努力がかなりあるとは思いましたが、きちんと収益が保たれている様子でした。 ○支える職員の確保が課題との事で、人手不足は特に深刻な状況であるとの事でした。 《所感》 今回は様々な施設をお持ちの事業所で、特に就労継続支援サービス事業所について学ばせて頂きましたが、何と言っても就労先の確保にものすごく力を入れて結果を出されているが故に、運営ができている事、収益も安定されている事に感銘を受けました。更には課題として教えて頂いたのが人手不足、ここ近年の離職が特に多く、ここの何かしらの支援や対策が、今後利用者さんが多くなる一方で大きな課題になるという事を学ばせて頂きました。 現状も課題ですが、今後ニーズが高まる時が必ず来ます、学ばせて頂きました内容を本市におきましても反映できるよう現状に合わせながら提案したいと思います。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="462 1668 742 1792">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="742 1668 1420 1792"> 「令和7年度、事業計画（案）」 「伊達コスモス21紹介」 他5冊 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	「令和7年度、事業計画（案）」 「伊達コスモス21紹介」 他5冊
資料名（会派保管）	「令和7年度、事業計画（案）」 「伊達コスモス21紹介」 他5冊		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--